

認知神経科学学会会員 各位

日頃よりお世話になっております。

認知神経科学学会理事長の山口修平です。

突然ではございますが、この度、第29回の認知神経科学学会学術集会の開催形態が国立長寿医療研究センター所属の前島伸一郎氏による現地開催から、認知神経科学誌の誌上開催に変更されましたので通知いたします。

以下にこれまでのいきさつを説明いたします。

昨年来、前島氏を学術集会会長とする第29回学術集会の準備が行われてきましたが、従来の本学会のプログラムと異なる形の企画が提出され、しかも長大なプログラムとなったため、プログラム委員会で審議を行い、内容の修正要請を行ってきました。

学会長の方では、その要請に従って演者の選定や講演時間の変更などの調整が行われましたが、プログラム委員会が求める形には至りませんでした。

特に、これまでの学術集会になかった長寿研が主体となったシンポジウム等についてプログラム委員会は削除の要請を行い、最終的に新たにプログラムの提案を行いました。

学術集会会長の方からは、これまでの準備を考慮して削除をすることは不可能で、削除要請の部分を長寿研主催のサテライトプログラムとして学術集会と別の建物で同日に行うとの提案がなされました。

これに対してプログラム委員会からは、講演時間が学術集会とサテライト講演会とは一部で同時進行するところがあり、参加者に混乱を招く可能性が残っており、そもそも学術集会とサテライト講演会を同じ日時に行うことは問題があり削除を再度要請しましたが、学術集会会長からそれは難しいとの回答がありました。

理事長としましても、両者の折り合いをつける努力を行ってきましたが、プログラムの合意には至りませんでした。かかる状況下、プログラム委員会などからは学術集会の現地開催を取りやめるように要請が出され、学会長もうけいれる事となりました。そして、会員への負担と混乱を避けるため、第29回認知神経科学学会学術集会の開催形態を国立長寿医療研究センター所属の前島伸一郎氏による現地開催から、認知神経科学誌の誌上開催に変更することになりました。もし、御意見があればよろしくお願い申し上げます。

認知神経科学会 理事長
山口修平